



朝風

平成 29 年度
学校報 11 月号④
大 仙 市 立
大 曲 南 中 学 校

平成 28・29 年度国立教育政策研究所指定 教育課程研究指定校事業 (ESD)

公開授業研究会

標記の研究会が、11月22日(水)に本校を会場に行われました。遠くは大分県や静岡県の参加者を含め、県内外から多くの先生方や市内各校のPTA関係者が大曲南中学校を訪れ、授業を参観しました。

- 1年生 数学 授業者：齋藤 明 阿部利征 村田文子
単元名「比例と反比例」
- 3年生 社会 授業者：後藤高仁
単元名「私たちの暮らしと経済～消費生活と経済～」
- 5年生～中学3年生 総合 授業者：吉沢 理 鈴木康子 他
ゲスト：市まちづくり課職員
題材名「『未来』につなげよう ふるさとのよさ」



自分の解き方を発表し合う(1年生)



公正・効率の視点で意見交換(3年生)



プログラムシートで解決策を検討(合同)



プレゼンに質問する吉川教育長(合同)



まちづくり課長のお話を聞く(合同)



濱野調査官のご講演

文部科学省
の濱野清(はま
のきよし)調査
官と南教育事
務所仙北出張所島田智指導主事
からは、次のようなご講評があり
ました。



島田 智 指導主事

○1年生 数学

「(数学の)学習内容は直接的にはSD(持続可能な社会)にはつながらないが、多面的・総合的に考える力を伸ばす上で(数学は)重要である。非常に提案性の高い授業だった。」

○3年生 社会

「SDG'sの目標の第12(つくる責任つかう責任)に合致する授業であり、生徒は問題を多面的・多角的に検討し、質の高い学び合いが展開されていた。」

○小中合同 総合的な学習

「この共同的問題解決は、SDG'sの見本となる授業であった。地域のSDG'sを考えさせる手法が新しく、やり方・内容がまさにESDである。」

濱野 清 調査官

「ESDの考え方は、新指導要領にもしっかり位置づけられており、全教科・総合で先駆的な取組をしている南中には、どんどん情報を発信してほしい。中学校でも、生徒が発表する授業が全国的に増えてきているが、一方通行であることが少なくない。ここでは、子ども同士の双方向のやり取りができています。子どもがお互いの発表を受け止め合い、付け加えたりしながら、集団の考えを深めている。秋田だからできるのか、大仙市の子どもだからできるのか、この地区が特別なのか。」